

## 2021年度ブラッシュアップ講座受講後のアンケート

### 講座名：コミュニケーションってなに？

- ☆ 最近、コロナの影響で実際に日本学習に関わる事がないので、何となく日を過ごし意識せずに過ごしていた自分の脳に刺激を与えられ、久しぶりに学生気分でした。
- ☆ 日本語を教える場合、相手のニーズによる柔軟な対応が必要で、時に「学校型」、時に「地域型」を使い分ける技能が大切だと思う。
- ☆ ボランティアをしていて、自分の引き出しが少なかったように思う。テキストを押しつけているというか、テキスト中心だと楽なので。これからは、学習者の状況を見てレッスンを進めるように努力しようと思った。
- ☆ コミュニケーションの話を聞いて大学時代に習った伝達関数を思い出した。インパルスを入れた時の応答、ノイズの入り方がほとんど同じだ。西洋的な考え方なのかな？まったくいっしょで驚いた。
- ☆ 私はビギナーの支援者です。『みんなの日本語』や文法を早く理解することに重きをおいていたが、学習者との会話にも力を入れたいと思う。
- ☆ パラダイムが大きく変わったこと。講師中心から学習者中心に重きを置く地域型への移行。自分のやりたいこと、興味があることは覚えも早いと思う。
- ☆ ー大学で学びなおしをしているボランティアからの感想ー  
今、大学でグループワークやピアラーニングを毎回の授業でやっていますが、最初は若い人とコミュニケーションが取りづらく難しいと感じていましたが、やっと慣れてきたように思う。きょうの講座を聞いて、なんでそんなこと（グループワークやピアラーニング）を今の大学でするのか、少しわかったように感じた。
- ☆ 支援者は我慢強くないといけない、優秀じゃないほうがいいという先生の言葉から、私は向いていると思った。ニーズは表にあらわれていない部分があり、それを掴むのが難しいな～と思った。
- ☆ 現代の生活は記号にあふれているので、一人でもコミュニケーション？
- ☆ 学習者にもっと気を配るべきだと思った。
- ☆ “知識を伝達するだけの学びはやめる”ここ1か月、このことが頭の中をめぐっている。先生が主導権をもつのではない。主体は学習者。自律的学習がやっとわかってきたかな～と思うが、いざ、学習者と対面するとどうしていいかわからなくなる。
- ☆ 自分が意識してない場面でも多くのメッセージを出していることを再認識した。学習者のメッセージを十分に受け取れるか、どのような訓練をすれば学習者のメッセージを見落とさないようになるのか？
- ☆ コミュニケーション：無自覚的に発信しているものに、自覚的にならねばと思う。

## 令和3年度 神戸市における地域日本語教育体制整備事業

- ☆ 学びを仲間からも学ぶピアラーニングというものも大事にしたい。
- ☆ コミュニケーションには努力が必要。意図的であるかないかにかかわらずコミュニケーションを発信していることを認識して行動したい。主人とのケンカも立派なコミュニケーションですね。

### 講座名：学校からのお便りを「やさしい日本語」にしよう！

- ☆ やさしい日本語にするためには、初級で勉強する単語を知っておく以外に言わんとすることの要点を理解し、その相手によって情報を減らしたり増やしたりするオーダーメイドの直し方が必要
- ☆ わかりやすい言い方に機械的に換えるだけではなく、文化背景や相手のニーズをよく理解したうえで、適切な表現や補足説明をすることがとても体制津であることを学んだ。

### 講座名：出前講座

- ☆ 地域日本語教育の現状や経緯、展望など興味深く、勉強になりました。「パラダイムシフト」ボランティア活動で心がけます。
- ☆ どういう風に学習を進めるべきか迷っていたので、今後の参考になりました。学習者が何を必要としているかニーズを把握して、学習者中心に進めてよいのだと思った。
- ☆ 日本語教育の流れと講座の問題が整理できた。
- ☆ 日本語ボランティアの状況について詳しく知ることができてよかった。